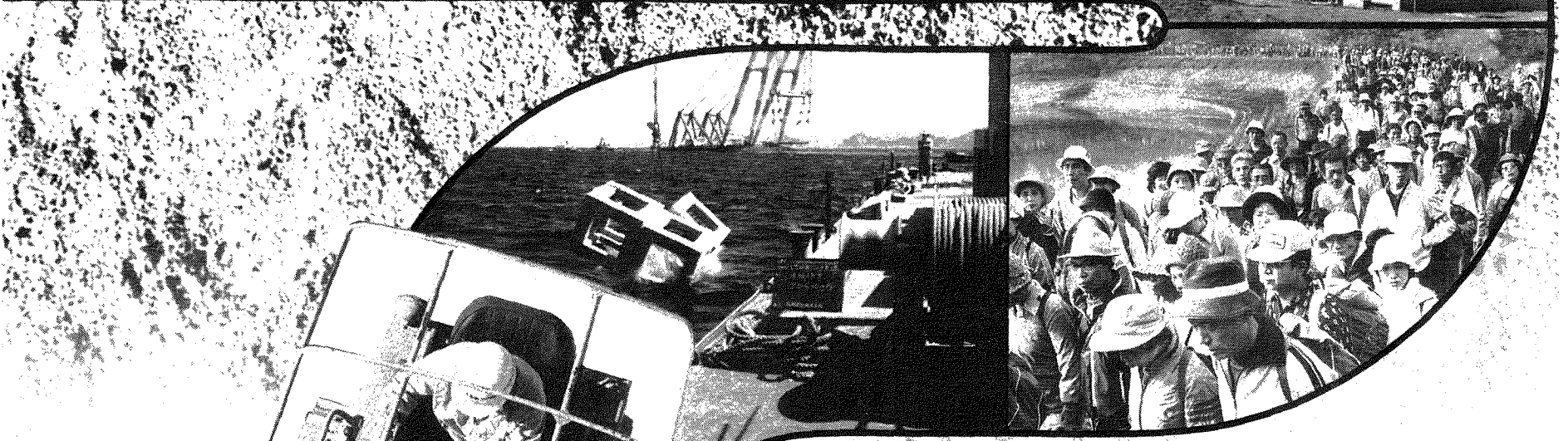
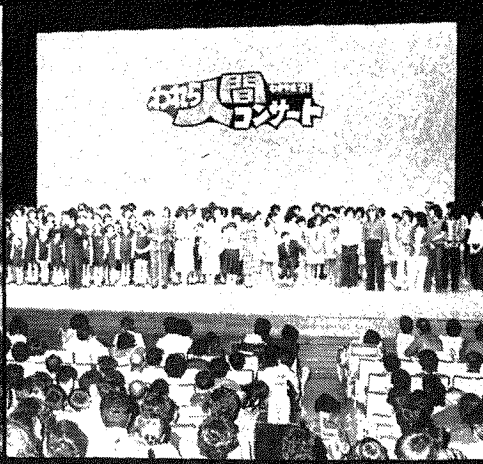




きらめく海、山、川。
かよう心を大切に。
より住みよい郷土を
みんなの手で——。



昭和56年度 県の仕事のすすみぐあい

活力あふれる ふるさとへ

前進！

この三月末で昭和五十六年度も終わりです。昨年の四月から一年間、みなさんのご協力を得ながら取り組んできたいろいろな仕事のうち、特に暮らしにかかわりの深いもののみぐあいを紹介します。今後、一層のご協力をお願いします。

一般有料 海南湯浅道路の 建設すすむ

この道路(海南・吉備間九・八キロ)は、県民みんなの願いである高速自動車道紀南延長の第一環として現在、道路公団で建設されているもので、難工事の一つ、長峰第一トンネルも昨年九月に貫通し、昭和五十八年度末の完成をめざし、全線が工事がすすめられています。

また、この有料道路に続く国道四十二号の交通の円滑化をはかるため、昭和五十四年度から建設省が当面吉備御坊間について諸調査を行っています。本年度からは、県も独自の調査費を計上し、建設省、道路公団と協同して調査の促進をはかっています。

紀州路に新動脈

過疎化に歯止めをかけ、経済、産業の発展の基盤に——と沿線の市町村および県が手をたずさえ、強く国に働きかけていた、西部縦貫道路、国道31号の紀南延長、紀伊半島横断道路の三つのルートの国

県道三ルート
国道に昇格

道昇格が、昨年四月に決まりました。今年の四月一日から施行されます。これらの路線は、年々、改良整備をすすめてきましたが、国道昇格に伴い、整備に一層力を入れていきます。

県営住宅 分譲住宅の 建築状況

住宅に困っている方々にできるだけ安い家賃で利用していただくため、今年度はすでに県営住宅四十戸を完成。四百十六戸を建築中です。

完成。二十一戸を建築中です。場所等は表のとおりです。入居および分譲のくわしいことは「県民の友」などでお知らせしています。

問い合わせ先

県営住宅 県庁住宅課
分譲住宅 県住宅供給公社(県庁内)

分譲住宅

所在地	戸数	備考
鴨居川(和歌山市)	4	S56.5 分譲
花野(打田町)	6	S56.5 "
長山(貴志川町)	20	S57.1 "
紀泉台(岩出町)	17	S57.2 "
木ノ本(和歌山市)	21	建築中 S57.6分譲予定

県営住宅

所在地	戸数	備考
長山(貴志川町)	24	S56.12 入居
御殿場(湯浅町)	16	S57.3 入居
西脇(和歌山市)	288	建築中
長山(貴志川町)	24	"
野(橋本市)	24	"
西跡之浦(田辺市)	24	"
鮎川(大塔村)	24	"
井関(那智勝浦町)	32	"

精神薄弱者「古座あさかぜ園」完成

国際障害者年事業の一環として建設がすすめられていた、精神薄弱者更生施設「古座あさかぜ園」が、今年の一月、東牟婁郡古座町上田原に完成。定員は男子四十人、女子三十人の計七十人で、更生に必要な指導や訓練が受けられる施設です。

この施設に入所できるのは、精神薄弱者更生相談所(県身体障害者福祉センター内・和歌山市)が、入所して援護を受けたほうが効果的だと判定した十八歳以上の人です。くわしくは各市福祉事務所または各県事務所へ。

御坊地域がミニテクノポリスの指定を受ける

全国で約四十の地域が名乗りを上げていたテクノポリスの指定は、国が昨年六月、テクノポリス十六カ所、ミニテクノポリス四カ所の合計二十の地域を調査対象地域として指定。御坊地域はそのうちの

ミニテクノポリスの調査地域として指定を受けました。これを受けて、県と関係市町村では御坊地域が持っている既存の集積および優れた自然環境を最大限に活用しようとする基本構想を策定中です。

昭和五十六年度 県の仕事のすすめくあい

道路整備に約百九十三億円投入

県が管理している道路は総延長二、四四三・二キロ（国道二四・五・五、県道二、一九七・七）。

昭和五十六年度は、これらの道路の整備に総事業費約百九十三億円（国庫補助の事業費は除く）をかけて工事をすすめてきました。

このほか、高野龍神スカイライン関連道路については、龍神村地内で龍王橋（延長一、二六）を建設するとともに道路拡幅工事などを実施。また田辺市地内では本年度より着工した川中橋の架け換え工事などの整備をすすめています。これら関連道路の今年度総事業費は約十三億円です。

このうち、今年度しゅん工した主なものは、大川橋（中辺路町地内、延長九四、事業費約二億円）、野口新橋（御坊市地内、延長三九、事業費約一億円）、県道泉佐野粉河線（打田町地内、延長四、九九〇、事業費約二一億円）など。

仮締め切り完了
本掘削工事へ

日高川

「椿山ダム」

椿山ダムは、日高川総合開発の一環として建設されているもので、洪水調節、流水の正常な機能の維持および発電を目的とする多目的ダムです。

昭和六十年度の完成をめざし今年度は、ダムの完成まで

同和対策

同和対策事業特別措置法の最終年度を迎え、同和対策長期計画の完全実施をめざし、各種事業に取り組みました。

事業の主なものとは表のとおりです。なお、この特別措置法の期限切れにともなう新しい法律の制定についての関連記事は四面に掲載しています。

そのうち環境改善整備事業については、国や県の補助、市町村の負担を合わせ、四百億円余の事業を実施しました。（この財源は国や県の負担約三百五十億円、市町村の負担約五十億円です。なお市町村負担のうちの約七〇％にあたる百六億円余については地方交付税が交付される見込です）

環境改善整備事業

事業種目	事業費 (国費、県費を含む) (10万円単位で四捨五入)
道路の整備	150億2,100万円
河川	8億9,500万円
下水・排水路	13億2,100万円
上水道	4億5,700万円
都市公園	5億6,700万円
社会福祉施設	9億1,900万円
農道等	37億6,400万円
公営住宅建設	9億9,800万円
改良住宅等住環境の整備	144億9,400万円
その他	16億9,300万円
計	401億2,900万円

事業種目	貸付額
住宅新築資金の貸付	68億1,600万円
宅地取得資金	29億6,300万円
住宅改修資金	4億5,700万円
計	102億3,600万円

国道二十四号
和歌山バイパス
国道二十四号の交通渋滞を解消するため和歌山バイパスの建設がすすめられています。本年度建設省では、このバ

夏の開館めざし
県立自然博物館建設すすむ

昭和五十四年から海南海市の温山荘に建設中の県立自然博物館は、夏休みに間に合わせるため最後の仕上げを急いでいます。

展示内容
・水槽展示Ⅱ紀州の海に生息する魚類の生態を展示。

建設工事に着手

精神薄弱者授産施設

今年の七月の完成をめざして日高郡由良町に精神薄弱者授産施設を建設中です。

この施設は十八歳以上の精神薄弱者を入所させ自活に必要な訓練を行い職業を与える

盛大に開催された自然公園大会

第二十三回自然公園大会は、昨年の七月、瀬戸内海国立公園の和歌山市加太・友ヶ島地区で開催。

完全参加と
平等の実現を
めざした
国際障害者年

一昨年七月に知事を本部長とする和歌山県国際障害者年推進本部を設置し、約十二億円の事業予算を組み、障害者の地位の向上と福祉の増進につとめました。

特に、国際障害者年の意義を理解していただくため、県市町村の広報紙や各報道機関を通じての広報活動、県国際障害者年キャラバン・キャンペーン隊の県内五十市町村への訪問および街頭啓発や青年団協議会による障害者を囲んでのデモ・デモやたぐさん

二月定例県議会を テレビ・ラジオで 放送！	
テレビ	ラジオ
（生中継・録画） （テレビ和歌山） ● 3月9日午前9時40分 知事説明（2月25日録画） ● 午前10時30分（中継） 代表質問（二）と答弁 ● 3月10日午前10時30分（中継） 代表質問（二）と答弁 ● 3月11日午前10時30分（中継） 代表質問（二）と答弁 ● 3月12日午前10時30分（中継） 代表質問（二）と答弁 ● 3月13日午前10時30分（中継） 代表質問（二）と答弁 ● 3月14日午前10時30分（中継） 代表質問（二）と答弁 ● 3月15日午前10時30分（中継） 代表質問（二）と答弁	（和歌山放送） ● 3月8日午後8時 知事説明（2月25日録音） ● 3月9日午後8時 代表質問（二）と答弁 ● 3月10日午後8時 代表質問（二）と答弁 ● 3月11日午後8時 代表質問（二）と答弁 ● 3月12日午後8時 代表質問（二）と答弁 ● 3月13日午後8時 代表質問（二）と答弁 ● 3月14日午後8時 代表質問（二）と答弁 ● 3月15日午後8時 代表質問（二）と答弁

3月 後半	
テレビ	ラジオ
16日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ① きのくに② 17日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ② きのくに③ 18日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ③ きのくに④ 19日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ④ きのくに⑤ 20日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑤ きのくに⑥ 21日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑥ きのくに⑦ 22日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑦ きのくに⑧ 23日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑧ きのくに⑨ 24日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑨ きのくに⑩ 25日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑩ きのくに⑪ 26日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑪ きのくに⑫ 27日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑫ きのくに⑬ 28日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑬ きのくに⑭ 29日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑭ きのくに⑮ 30日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑮ きのくに⑯ 31日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑯ きのくに⑰	16日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ① きのくに② 17日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ② きのくに③ 18日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ③ きのくに④ 19日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ④ きのくに⑤ 20日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑤ きのくに⑥ 21日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑥ きのくに⑦ 22日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑦ きのくに⑧ 23日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑧ きのくに⑨ 24日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑨ きのくに⑩ 25日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑩ きのくに⑪ 26日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑪ きのくに⑫ 27日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑫ きのくに⑬ 28日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑬ きのくに⑭ 29日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑭ きのくに⑮ 30日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑮ きのくに⑯ 31日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑯ きのくに⑰

4月 前半	
テレビ	ラジオ
1日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑰ きのくに⑱ 2日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑱ きのくに⑲ 3日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 4日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 5日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 6日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 7日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 8日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 9日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 10日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 11日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 12日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 13日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 14日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 15日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 16日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 17日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 18日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 19日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 20日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 21日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 22日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 23日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 24日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 25日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 26日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 27日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 28日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 29日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 30日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 31日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲	1日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑰ きのくに⑱ 2日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑱ きのくに⑲ 3日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 4日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 5日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 6日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 7日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 8日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 9日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 10日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 11日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 12日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 13日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 14日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 15日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 16日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 17日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 18日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 19日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 20日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 21日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 22日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 23日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 24日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 25日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 26日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 27日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 28日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 29日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 30日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲ 31日 県民スタジオ 新入児を持つご家庭へ⑲ きのくに⑲

○世耕自治大臣お国入り（1月16日、県庁）世耕政隆自治大臣（国家公安委員長）が就任後、初めて県庁を訪問。仮谷知事がさっそく地方交付税の引き上げなどを要望。

○県ナース章七人の胸に（1月28日、県民文化会館）

県内で永年、看護職員として勤務し、顕著な業績のあった次の方々が受賞（敬称略）
吉田嘉津子氏（橋本市、山東）
淑子氏（和歌山市、志田はな）
御坊市、小野和代氏（海南市）
植杉一枝氏（田辺市、村山朝子）
橋本市

○農業者健康生活づくり標語コンクール入賞者決まる（1月25日、県庁）応募総数三百

会場には漆器、木工、和雑貨などの意欲的なオリジナル製品が多数展示された。

○県ナース章七人の胸に（1月28日、県民文化会館）

県内で永年、看護職員として勤務し、顕著な業績のあった次の方々が受賞（敬称略）
吉田嘉津子氏（橋本市、山東）
淑子氏（和歌山市、志田はな）
御坊市、小野和代氏（海南市）
植杉一枝氏（田辺市、村山朝子）
橋本市

○農業者健康生活づくり標語コンクール入賞者決まる（1月25日、県庁）応募総数三百

七十一歳のなかから次の五人が優秀賞に。（敬称略）
▽西島しげ子（湯浅町）「母さんの菜園つくりで家族が健康」
▽谷口みゆき（新宮市）「一、二、三足腰のばして仕事もさわやか」
▽大原久美子（白浜町）「主婦のちえ食卓の上にも赤黄緑」
▽則岡輝子（有田市）「ふるさとに健康づくりの輪を増やそう」
▽岡山嘉延（那賀町）「つれもていこら野良着姿で検診に」

○田辺圏域シンポジウム開催（2月13日、田辺市）21世紀の田辺圏域像を求めて活発なパネルディスカッション展開。

1 人件費の状況（普通会計決算）

区 分	住民基本台帳人口	歳 出 額 A	人 件 費 B	人件費率(B/A)
55年度	(昭和56年3月31日現在) 1,099,506人	288,526,273千円	112,488,410千円	39.0%

(注)人件費には、一般の職員、警察官、教員の給与、退職手当、共済費のほか、特別職の給料及び報酬等を含んでいます。

2 職員給与費の状況（普通会計予算）

区 分	職員数 A	給 与 費				1人当たり 給与費 (B/A)
		給 料	職 員 手 当	期末・勤勉手当	計 B	
56年度	18,792人	53,711,927千円	10,551,393千円	22,234,656千円	86,497,976千円	4,603千円

(注)職員手当には退職手当は含まれていません。また、給与費については、12月補正後の予算です。

3 職員構成の状況（昭和56年12月31日現在）

区 分	一般の職員	警 察 官	教 員	計
人 員	6,212人	1,796人	10,784人	18,792人
構 成 比	33.0%	9.6%	57.4%	100%

(注)一般の職員とは、一般行政事務に従事する職員、保健所で医療業務に従事する職員、福祉施設等に勤務する職員などをいいます。

4 職員の学歴別人員構成の状況（昭和56年4月1日現在）

区 分	和 歌 山 県				国			
	大学卒	短大卒	高校卒	中学卒	大学卒	短大卒	高校卒	中学卒
全 給 料 表	46.5%	23.7%	27.5%	2.3%	28.3%	13.2%	47.0%	11.5%
一 般 行 政 職	30.7%	13.9%	51.1%	4.3%	22.4%	9.9%	61.2%	6.5%
警 察 職	19.9%	0.8%	70.7%	8.6%	19.7%	3.8%	59.4%	17.1%
小中学校教育職	52.5%	36.0%	11.0%	0.5%	85.8%	13.0%	1.2%	0.0%
高等学校教育職	79.1%	13.9%	6.4%	0.6%	76.7%	20.7%	2.1%	0.5%

(注)県には、教員、警察官、病院の医師、看護婦、道路整備員などさまざまな職員がいますが、本表から表8については、職員数の比較的多い一般行政職、警察職、小中学校及び高等学校教育職の状況を掲げています。

5 職員の平均給料月額及び平均年齢の状況（昭和56年4月1日現在）

区 分	一 般 行 政 職		警 察 職		小中学校教育職		高等学校教育職	
	平均給料月額	平均年齢	平均給料月額	平均年齢	平均給料月額	平均年齢	平均給料月額	平均年齢
和歌山県	216,935円	39.8歳	191,171円	34.4歳	228,296円	38.5歳	238,620円	39.7歳
国	196,235円	40.0歳	202,685円	40.1歳	231,723円	39.4歳	241,530円	40.3歳

(注)平均給料月額については、単純に平均したものであり、学歴、経験年数、地位などの違いによる職員構成の要素は含んでいません。

6 職員の初任給の状況（昭和57年1月1日現在）

区 分		和 歌 山 県		国	
		決 定 初 任 給	採用2年経過日料額	初 任 給	採用2年経過日料額
一般行政職	大学卒	101,900円	118,800円	上級甲種	106,900円
				上級乙種	101,900円
	高校卒	85,900円	94,700円		85,900円
警 察 職	高校卒	100,200円	108,200円		96,400円
小中学校教育職	大学卒	113,300円	132,900円		113,300円
	短大卒	103,000円	113,300円		98,000円
高等学校教育職	大学卒	113,300円	132,900円		113,300円

(注)初任給の額は、新規学卒で採用された場合の額です。

7 職員の経験年数別、学歴別平均給料月額の状況（昭和56年4月1日現在）

区 分		経験年数 10年	経験年数 15年	経験年数 20年
一般行政職	大学卒	168,728円	203,269円	253,221円
	高校卒	138,418円	170,390円	208,185円
警 察 職	大学卒	180,442円	215,857円	258,950円
	高校卒	154,141円	185,036円	228,129円
小 中 学 校 教 育 職	大学卒	185,284円	230,552円	286,051円
	短大卒	166,656円	212,756円	253,838円
高 等 学 校 教 育 職	大学卒	183,259円	229,194円	284,389円
	短大卒	163,072円	209,698円	236,600円

(注)経験年数とは、卒業後直ちに採用され引き続き勤務している場合は、採用後の年数をいいます。したがって、大学卒、短大卒、高校卒の間において学歴による年齢差があります。

県職員（一般・警察・教育）の給与等の現状

県では、県民福祉の向上や豊かな郷土づくりなどのためにいろいろな事務事業を行っています。これらの仕事に携わっている県職員の給与等の現状を知っていただくために、その内容についてお知らせします。

県職員の給与は、地方公務員法の規定に基づいて生計費あるいは国、他の地方公共団体職員の給与並びに民間事業の従事者の給与などを考慮して決定することになっており、具体的には、県職員の給与その他の勤務条件の調査・研究機関である県人事委員会の民間給与実態調査等に基づく意見、勧告を受け、これをもとに給与条例の改正を提案し、議会の審議を経て実施しています。

また、特別職の報酬等の額については、一般職員の給与の改定状況及び他の都道府県の特別職の報酬等を考慮し、県内の公共的団体等の代表者で構成される特別職報酬等審議会に諮問し、その答申を得て決定することになっています。

一方、職員数については、行財政の簡素効率化を図るため、一般行政職員を中心に定数の削減（昭和五十一年～昭和五十四年に百十五人）を行ってきたところですが、更に、今回の行財政改革の一環として昭和五十七年度以降定数の削減を実施していくこととしています。

8 等級別職員数の状況（昭和56年4月1日現在）

(1) 一般行政職

区 分	特1等級	1 等 級	特2等級	2 等 級	3 等 級	4 等 級	5 等 級	6 等 級	計
標準的な職務内容	部 長 局 長	次 長 出 先 機 関 の 長	課 長 主 出 先 機 関 の 長	課 長 補 佐 班 長	主 査	主 事 技 師	主 事 技 師	主 事 技 師	
職 員 数	24人	73人	1,396人	748人	1,440人	258人	400人	258人	4,597人
構 成 比	0.5%	1.6%	30.4%	16.3%	31.3%	5.6%	8.7%	5.6%	100%

(2) 警 察 職

区 分	1 等 級	2 等 級	3 等 級	4 等 級	5 等 級	6 等 級	7 等 級	計
標準的な職務内容	部 長 大 規 模 署 長	課 長 署 長	警 視	警 部	警 部 補	巡 査 部 長	巡 査	
職 員 数	17人	42人	196人	402人	409人	226人	477人	1,769人
構 成 比	1.0%	2.4%	11.1%	22.7%	23.1%	12.7%	27.0%	100%

(3) 小中学校教育職

区 分	特1等級	1 等 級	2 等 級	3 等 級	計
標準的な職務内容	校 長	教 頭	教 諭	講 師 助 教 諭	
職 員 数	470人	465人	6,862人	10人	7,807人
構 成 比	6.0%	6.0%	87.9%	0.1%	100%

(注) ① 等級区分は、県の給与条例によるものです。
② 標準的な職務内容とは、それぞれの等級に該当する代表的な職名です。

(4) 高等学校教育職

区 分	特1等級	1 等 級	2 等 級	3 等 級	計
標準的な職務内容	校 長	教 頭	教 諭	講 師 助 教 諭	
職 員 数	36人	49人	2,142人	149人	2,376人
構 成 比	1.5%	2.1%	90.1%	6.3%	100%

9 期末・勤勉手当の状況

区 分		和 歌 山 県		国	
		期 末	勤 勉	期 末	勤 勉
支 給 割 合	6 月 期	1.4月分	0.5月分	1.4月分	0.5月分
	12 月 期	1.9月分	0.6月分	1.9月分	0.6月分
	3 月 期	0.5月分	—	0.5月分	—
	計	3.8月分	1.1月分	3.8月分	1.1月分

10 退職手当の状況

区 分		和 歌 山 県		国	
		自 己 都 合	勲 奨	自 己 都 合	勲 奨
支 給 率	最高限度	60.0 月分	69.3 月分	60.0 月分	69.3 月分
	勤続20年	21.0 月分	31.5 月分	21.0 月分	31.5 月分
	勤続30年	41.25 月分	59.4 月分	41.25 月分	59.4 月分
	勤続35年	48.125月分	69.3 月分	48.125月分	69.3 月分
1人当たり平均支給額	一般の職員	3,133,156円	19,604,717円	(注)1人当たり平均支給額については、昭和55年度の実績によるものです。	
	警 察 官	3,466,400円	21,720,222円		
	教 員	6,300,427円	23,315,101円		

11 特別職の報酬等の状況（昭和56年4月1日現在）

(注)報酬月額等の額は、特別職報酬等審議会の答申に基づいて昭和55年4月1日に改正されたものです。

区 分	報酬月額等	期 末 手 当
知 事	840,000円	55年度支給割合 6 月 期 1.4月分 12月期 1.9月分 3 月 期 0.5月分 計 3.8月分
副知事	650,000円	
出納長	560,000円	
議 長	650,000円	
副議長	560,000円	
議 員	520,000円	

